

# 山城小だより



<学校だより>  
H29. 7. 18 (火)  
校長：長谷川 彰

## ☆学校教育目標

「やさしく かしこく たくましく」  
○自ら学び深く考える子ども  
○心美しい思いやりのある子ども  
○明るく健康でたくましい子ども



## ちょっと待って！夏休みの前に



いよいよ子ども達が待ちに待った夏休みです。各ご家庭でも旅行や行事参加など楽しい計画が立てられているのではないかと思います。

そこで、この夏休みを有意義に過ごすために、次の2つのことをご家族でぜひ話し合ってください。(夏休み前に……)

### ① 自分のめあてを持ってそれに向けてがんばる

自分のやってみたいことをしっかりと持つことです。「プールで25m泳げるように練習しよう」「本を〇〇冊読もう」「□□のことについて調べてみよう」また生活面でのめあてとして、「(家で役割を決め)すすんで◇◇の仕事をする」等、夏休みだからこそじっくりと時間をかけて、めあてに取り組んでほしいと思います。

### ② いろいろな活動に参加する

家族旅行はもちろん、キャンプ・ラジオ体操・地区のレクリエーション・ボランティア活動等、たくさんの行事、催し、イベントが計画されています。すすんで参加し、いろいろな体験を重ね、多くの友達との出会いを大切にしてほしいと思います。また、地域の一員であるという自覚も持つことができればと思います。

以上この2つは、よく言われる当たり前のことですが、実行できそうでなかなかたいへんなことでもあります。ぜひご家庭で励ましてあげながら、お子さんを育ててあげてください。学校では、夏休みが終わって、一段とたくましくなった子ども達に会えるのを楽しみにしています。

## 子どもが事故や事件に巻き込まれないために ～目や手や心を離さない～

行楽シーズンの到来となります。海や川では「水難事故」が気になります。また、休み中気をつけないければならないのが「交通事故」。特に気を付けておきたいことは、「自転車に乗っている時」の

- 二人乗り
- スピード
- 細い道から広い道に出る時の安全確認



子どもが巻き込まれる事故や事件の事例を見ると、親やまわりの大人がもう少し気をつけていれば防げたのではないかと考えることがあります。ちょっと目を離れた隙に、話に夢中になっている間になど、後から考えれば未然に防止できた事例が少なくありません。また、行楽地では大人も子どもも開放感でつい羽目を外したくなりますが、海や川での事故は生命にかかわります。子どもから**目や手や心を離さない**ようにお願いします。

